

# 地場産の藍染めをPR!

# HANYU カメラさんぽ



9月8日(火)

地場産の藍染めをPRしようと、市議会議員や河田市長ら約40名が藍染めシャツを着用し、「藍染議会」と称した9月定例会議を開会。また、武蔵野銀行羽生支店でも全員が藍染めポロシャツ姿で業務を行い「藍のまち羽生」をPRしました。



## ベルギー大使も大満足

9月26日(土)



ベルギー大使(ヨハン・マリクー氏)を含め約60名の日本・ベルギー協会の方々、羽生市を訪問しました。さいたま水族館や盆栽庭園(雨竹亭)などを見学したり、三田ヶ谷地内の田んぼで稲刈りを体験。皆さん羽生を満喫した様子でした。

## 日本の食を楽しもう!



9月6日(日)

羽生国際交流市民の会の皆さんが、キャッセ羽生で手打ちうどん交流会を開催。中国やベトナム、メキシコなどから来た方々が慣れない手つきで一生涯懸命。できたての味に笑みが溢れていました。

双子ちゃんです!



上新郷にお住まいの原口依子さんの畑で、かわいらしい双子のカボチャが実りました。このおめでたいカボチャにあやかって実り多い秋が、訪れるといいですね。



ワッハハハ!

9月30日(水)



テレ玉の番組「ボビー'S スタジアム」が羽生北小学校や、キャッセ羽生などを取材。羽生北小では、ボビー・オロゴンさんが走り高跳びや鬼ごっこを行い、児童たちとふれあいました。この番組の放映日時は下記欄外をご覧ください。

## 話題のこの味に挑戦!



9月12日(土)

団塊世代の支援講座「いがまんじゅう作り」がキャッセ羽生で行われ、約40名が参加。皆さん、羽生の味を受け継ごうとレシピを再確認しながら、和気あいあいと作っていました。

なんだこの赤い実?



秀安にお住まいの島村泉さんのお宅のモクレンの木に、不思議な赤い実が実りました。5年前に植えてから初めて見る不思議な実に、島村さんは驚いた様子でした。

## 羽生城ゆかりの地を訪ねて...



5月から開催されたふるさと市民大学「戦国時代の羽生城」の最終回に、市内外から集まった72名が、羽生城ゆかりの史跡や寺社を訪問。身近なのにあまり知られていない歴史に、驚きの声があがっていました。

10月号の編集が終わったなと思っていた校了期限の前日、隣のNくんから「まだ編集後記が残っていますよ」と一言。すっかり忘れていたとはいえ、夢から現実に引き戻されたような気分。というわけで、今回もいつもと同じく、締め切りの直前に編集後記を書いています。ところで、羽生を舞台にした田山花袋の小説「田舎教師」が出版されてから、今年で100年が経つそうです。私は、編集後記を完成させるにも、いつも何をテーマに書こうかと悩みながらパソコンを打っていますが、ワープロもない時代に素晴らしい小説を書き上げた花袋の偉大さを感じます。少しは見習って、皆さんに読んでいただける「名作」ならぬ「迷作」の編集後記を書けるようがんばります。



9月9日、双子のかぼちゃが実ったという連絡を受け、上新郷にお住まいの原口依子さんのお宅に取材へ。原口さんは、かわいらしいかぼちゃを抱き微笑みながら語ってくれました。話は、この実からだんだん原口さんの生い立ちの話に...既に演歌歌手としてプロデビューし、今年で7年目。芸名は原依子。幼い頃から歌が大好きで、結婚し二人の娘の母親になったのも束の間、病に二人の子を奪われ、自らも大病をした波瀾万丈の人生。今では、高齢者施設に出向きボランティアで歌を披露し、元気づけているそうです。「今が人生最高」と語る原口さん、その姿に力強いオーラを感じました。

テレビ埼玉「ボビー'S スタジアム」の放映日時... 1回目: 10月19日(月) 午後6時30分~7時、2回目: 10月26日(月) 午後6時30分~7時

羽生市ホームページアドレス <http://www.city.hanyu.lg.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています